

## まちなかグリーンインフラ設立趣意

信州・長野県は、雄大な山並みや田園風景など、緑豊かな地域がありますが、まちなかに目を向けると、都市化の進展により、建築物や舗装などによって地表面が覆われ、緑が不足しています。

加えて、人口減少・流出に伴う空き地・空き家の増加や、気候変動の影響等により自然災害が激甚化する中、2050 ゼロカーボンの実現に向け、県を挙げて次世代を見据えた持続可能で潤いあるまちづくりを推進する必要があります。

そこで長野県では、SDGs と親和性が高く、多くの社会的課題の解決策となる可能性を有する「グリーンインフラ」をまちなかに広げるため、全国の都道府県に先駆け「信州まちなかグリーンインフラ推進計画」を策定しました。

グリーンインフラは、自然が持つ多様な機能を活用することで気候変動の緩和や防災減災などの地球環境問題への処方箋となる一方、まちなかに人や投資を呼び込み、コミュニティや賑わいを取戻すなど、「まち」を蘇らせる効果も大いに期待できます。

このため、住民の皆様が、緑地や街路樹等を大切な資産として捉え、行政と共に緑化を推進し、それを持続的に維持管理していくことが重要です。

私たちは、住民の皆様と共にグリーンインフラを「ふやす」、「つかう」、「まもる」ことにより、次世代を見据えた信州らしい持続可能で潤いあるまちづくりを進めるため、「まちなかグリーンインフラ推進会議」を設置します。

令和4年2月8日